



CHIKUZEN
GIKAI DAYORI
年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから

筑前町の“お米”届けます



- ▶ 議長あいさつ P2
- ▶ 12月定例会・臨時会 P3~
- ▶ 委員会活動報告 P5~
- ▶ 町政を問う 一般質問 P7~

第79号

2026.2

**新年あけまして
おめでとうござります。**

心機一転、議会活動に邁進…
令和8年の幕開けおめでとうござい
ます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかにて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対しましても、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り改めて感謝申し上げます。昨年は、気象変動の影響で台風、豪雨、熱波が世界的に多発し、自然災害による経済損失が急増した年でもありました。また国内においても自然災害が発生し、気候変動の影響による異常気象が目立った1年となりました。

昨年11月に大分市で発生した大規模住宅火災は、強風の影響もあり急速に延焼し、山林や離島まで広がる、国内の住宅火災としては、最大級となりました。また、12月には青森県東方沖を震源とする地震が起き、八戸市では最大震度6強を観測しています。

「災害は忘れた頃にやって来る」ということわざは、今や死語となり、今日の気候変動の影響は、いつでも災害を引き起こす状況を生み出しています。昨年、町では防災意識の高揚をめざし、防災リュックの全戸配布を実施しました。災害に対する意識を高めていただければと思っています。

さて議会はこの1年、議員の資質向上をめざし、「議会改革」に取り組んできました。まだまだ十分とは言えませんが、新年にあたり、心機一転さらに議会活動に邁進していくことを改めて決意し、今後とも町民の皆さまの代弁者としての責任を果たして参る所存でございます。

町民の皆さまには、これまで以上のご指導・ご鞭撻のほどを切にお願い申し上げます。

今年もよろしくお願ひします

筑前町議員一同



12月定例会

12月5日から12日の8日間の日程で開催。
承認3件・議案5件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

一般会計補正予算(第4号)

5億2276万円を増額

補正後の予算総額：170億9685万円

予算増の主なもの

北部九州新食肉センター(仮称)建設
(国庫補助金を交付するもの)

2億円

ふるさと応援基金管理・応援寄付金推進事務
(ふるさと納税増に伴う増額)

1億円

農業共同利用施設機能強化促進事業

4999万円

GIGAスクールサーバー更新委託料

2769万円

(専決処分を報告)
全町民への配布用新米の契約3件

1億3571万円



(工事請負契約の締結)
四三嶋工業団地発生土処分工事

7480万円



委員会の活動報告

令和7年12月定例会時に、議場において各委員会の委員長が活動報告をしました。

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、多面的機能支払い交付金制度に関するアンケート結果を踏まえ、施設維持に必要な交付額上限200万円の見直しを求め、県へ要望書を提出しました。県・国の担当部局との意見交換では、広域化事業や長寿命化事業など他制度の活用提案も得られました。

住民の声を基に要望を行い、国へも伝達されることになった今回の活動は、議会の役割を再確認する意義ある取り組みとなりました。



文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、町内小学校の授業や増築教室の視察を通じて教育環境の現状を確認しました。また、みやま市のバイオマス施設や大牟田市の紙おむつリサイクル工場などを視察し、資源循環や環境負荷低減の先進事例を学びました。さらに熊本地震の震災ミュージアムでは防災意識の重要性を再確認しました。

教育・環境・防災の視点から得た知見を、今後の議会活動に活かしてまいります。



令和7年第4回臨時会

10月29日の1日間の日程で開催。

承認3件・議案3件が提案され、審議の結果承認、可決した。主な議案は、以下のとおり。

一般会計補正予算(第3号)

1億4991万円を増額

補正後の予算総額：165億7408万円

予算増の主なもの

- ・「地産地消推進及び物価高騰支援事業」…全町民1人当たり5kgの米配布

条例の一部改正

- ・児童福祉法等の一部改正に伴う関係条例の整理

(内容)保育所等の職員による虐待に関する通報義務等を創設・地域限定保育士制度を一般制度へ

- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(内容)利用乳幼児の健康診査についての変更
みねふるの いけしゅんせつ

報 告

- ・峯古野池浚渫工事請負変更契約

(変更前) 1億7820万円 → (変更後) 1億7913万円

- ・東小田小学校南側校舎外壁改修・屋上防水工事請負変更契約

(変更前) 8690万円 → (変更後) 8745万円

- ・難燃加工非常用リュック(防災リュック)…各世帯1個配布

議決結果

令和7年 第4回定例会

区分	審議結果	議案名	議員名												
			平田英司	原田邦男	池松和彦	原口博文	原田宏	木村和彦	石橋里美	柳雅明	山本一洋	奥村忠義	山本久矢	河内直子	寺原裕明
専決	承認	地産地消推進及び物価高騰支援事業配布用新米購入契約(その1)の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地産地消推進及び物価高騰支援事業配布用新米購入契約(その2)の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		地産地消推進及び物価高騰支援事業配布用新米購入契約(その3)の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	筑前町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
		令和7年度筑前町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
		令和7年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和7年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について(四三嶋工業団地発生土処分工事)	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
その他	可決														

令和7年 第4回臨時会

区分	審議結果	議案名	議員名												
			平田英司	原田邦男	池松和彦	原口博文	原田宏	木村和彦	石橋里美	柳雅明	山本一洋	奥村忠義	山本久矢	河内直子	寺原裕明
専決	承認	峯古野池浚渫工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		東小田小学校南側校舎外壁改修・屋上防水工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		難燃加工非常用リュック購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	可決	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度筑前町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 石丸時次郎は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

筑前議会だより(79号)

町政のここが聞きたい!



一般質問

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。

発言の全内容(録画配信)は下記のQRコードからアクセスできます。

◆ 山本 久矢 議員 P8

- ・通学時の安全対策は
- ・公共施設等のトイレは全ての人が利用できるのか

◆ 山本 一洋 議員 P9

- ・これからのまちづくりについて
- ・発達が気になる子どもへの支援のあり方について

◆ 奥村 忠義 議員 P10

- ・災害に備えて
- ・学校教育について

◆ 柳 雅明 議員 P11

- ・森林環境譲与税法について
- ・林業の持続的発展とはどのようなことが望ましいのか
- ・市町村はどのような形で森林を整備していくのか
- ・民間事業者へ経営管理実施権の委託について

12月議会定例会では、8名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めました。

◆ 石橋 里美 議員 P12

- ・安心の就学へ「5歳児健康診査」について
- ・利用しやすい公共施設について

◆ 河内 直子 議員 P13

- ・基幹産業である農業政策の再生について

◆ 原口 博文 議員 P14

- ・安心、安全、住みよい町づくりについて

◆ 寺原 裕明 議員 P15

- ・子どもの健全な育成について



各議員の
全内容は
録画配信で

12月定例会ライブ配信
アクセス数 171件

令和8年3月定例会日程(予定)

3月2日(月)～3月13日(金)

一般質問

3月4日(水)・5日(木)

予算審査
特別委員会

3月9日(月)～11日(水)



※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、2月26日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。お問い合わせください。

議会広報特別委員会



議会広報特別委員会は、年4回発行の議会広報誌「うぐいす」の企画・編集を担当し町民の皆様へ議会情報をわかりやすく伝えることを目的に活動しています。委員6名が協力して内容検討や紙面編集を行い読みやすい広報誌づくりに取り組んでいます。

77号では、みなみ幼稚園園児による田植えの様子を表紙に掲載し、各常任委員会の視察内容や関係機関の説明を紹介しました。78号では、平和記念館での戦争と平和を伝える活動・高校生議会・総務建設常任委員会による町施設の現地確認・あなたの町のトピックスなど地域の話題を掲載しました。また、8月・11月に行われた全国及び県の広報研修会に参加し、紙面デザインや表現方法に関する具体的な助言を受け、広報誌づくりの重要な学びとなりました。

今後は、町民の方にとってより理解しやすく身近に感じられる紙面づくりを進め、議会と町民の方をつなぐ架け橋として広報誌「うぐいす」をさらに改善していく方針です。

令和7年度

議会報告会のお知らせ

夜須地区

日時

令和8年2月1日(日) 10時～

場所

コスモスプラザ2階会議室

三輪地区

日時

令和8年2月8日(日) 10時～

場所

ちくぜん少年大使館

※今年度は2地区に分けて町民の皆さんと
の意見交換を目的に開催します。
多くのご出席をお待ちしています。

お問い合わせ：筑前町議会事務局

☎0946-42-6622



やま もと ひさ や
山本 久矢
議員



通学時の安全教育は大事だ

教育活動を通じて行っている



一時停止なぜ
止まらない危険だ

中学生の自転車通
学時にルールを守らない
ことが多い生徒がある
が、自転車の安全点検に
点検・指導は行っている
か。

教育課長 両中学校とも、
点検についてはブレーキ、ラ
イト等について点検チェック
項目表を活用して、生徒会
やPTAの自主的活動と
して行っている。

山本 中学生の自転車通
学時にルールを守らない
ことが多い生徒がある
が、自転車の安全点検に
点検・指導は行っている
か。

山本 高上集落の防火水
槽付近から中学校への途
中で一時停止の標識があ
り、守られていないが「交
通安全教室」は行っている
のか。

把握しておらず、各行政区
長より連絡を受けて対応
している。

物の建築の促進に関する
法律（旧ハートビル法）」が
制定され、バリアフリーが
法制化されている。質問の
建物は法制化以前の建築
物で用途や利用状況等に
応じて設置しているものと
思われる。本年バリアフ
リー基準改正があり、今
後、新築・増築・改築等を
行う場合、急速な高齢化
や共生社会の実現に向け、施設
の利便性・安全性向上に努
める。



高上地区の危険な交差点

だれにもやさしい
トイレ

山本 役場本庁、総合支
所内に障がいのある方や
一時的に怪我をされた
方々が利用できる多目的
トイレが少ないようにな
うが。

財政課長 平成6年に「高
齢者、身体障がい者等が円
滑に利用できる特定建築
の電子決済導入について調
査研究し、ペーパーレス化に
努める。



これから
まちづくりは

山本 今日までのペー
パーレス化の取り組みと
効果は。

財政課長 庁内ネット
ワーク等を活用し、ペーパー
レス化を推進している。令
和8年度以降も財務会計
の電子決済導入について調
査研究し、ペーパーレス化に
努める。

自治体DXの
推進について

山本 後期基本計画にあ
る、農業DX推進による方
向性は。

農林商工課長 スマート
農業の推進により、農作業
を効率化と省力化するこ
とで担い手不足の解消を
図り、今後も「とかいなか」
といえる田園風景を守る。

発達支援を必要とする子どもの支援を

重要性を認識し研究を進める

やま もと かず ひろ
山本 一洋
議員




山本 以前から、子育て
に関する窓口を一つにす
るよう話をしてきたが、
現在の状況は。

山本 早期療育につなが
る、専門機関の体制強化の
必要性は。

山本 今年度から、
プレセラピーティクス事業を開始。
しかし、人材確保に苦慮し
ている。今後も研究を進め
る。



タブレットによる会議



いし ばし さと み
石橋 里美
議員



石橋 県内で実施している自治体及び、他の自治体と情報交換を実施しているのか。

対応が可能となる。

かわち なお こ
河内 直子
議員



体が実施。先行する自治体の運用や課題を参考に、本町での実施方法や体制の方を慎重に検討しているのか。

安心の就学「5歳児健康診査」について

5歳児健康診査の実現を

導入実現に向けて段階的に検討する

安心の就学「5歳児健康診査」について

石橋 切れ目のない乳幼児健診のため、5歳児健康診査事業が創設されたが、町は5歳児健診の必要性をどのように認識しているのか。

こども課長 導入の目的は、発達上の課題を早期に把握し、小学校入学前に家庭や保育所・幼稚園、教育機関と連携して必要な支援につなげることにある。早い時期に家庭への助言を行い、保育所・幼稚園での支援方法を工夫し、教育課との連携を早めるなどの

石橋 本町における導入にあたっての課題及び、その後の課題解決に向けて今後どう取り組んでいくのか。

こども課長 医師や心理士等の専門職の確保、健診備、発達支援を担う医療機関などの受け皿不足が課題であり、導入実施に向け段階的に検討していく。

利用しやすい公共施設について

石橋 敬老館と福祉館を繋ぐ通路は、どのような経緯で通り抜け禁止になつたのか。

福祉課長 敬老館と福祉館を繋ぐ通路は、どのような経緯で通り抜け禁止になつたのか。



石橋 利用者の利便性を回答するのは難しいが、関係課や関係機関等と情報収集・共有を図りながら、現場状況に応じて判断していく。



敬老館と福祉館を繋ぐ通路

農業政策の再生について

食料自給率を農業政策の柱にすべき

食料自給率は、国策としては100%に近づけるべき

かわち なお こ
河内 直子
議員



河内 農林水産省の農業経営統計調査の資料では、農地の集積・集約化等によって生産コストの低減を進めて、農業所得の向上を後押しするというが、これは、個々の農家が持つ農地を統合し、大規模な農地として運用するもので、農地所有者に農地の差し出しを求め、小規模家族経営をつぶすものだ。こうした農政の下で、担い手は20年で半減し、70歳以上の農家が57%と、離農者は増え続けている。水田の力を活かす政策に転換し、食

料自給率を農業政策の柱にすべきでは。

農林商工課長 自給率の向上については、同意する。

町長 主食である米だけは、せめて100%を維持するということだろうと思う。国策を巧みに利用しながらも、我が町の主体性は持っておくべき。平坦地についてはスマート農業等々、低成本化を徹底的に進めいく。と同時に、高齢者とか兼業農家の方々には、小さくともビジネスになり得るような仕掛けをつくる。この両極をしつかり育てていくことが、筑前町の農業の後継者対策であり、高齢者対策であると考える。

河内 世界の流れである

農林商工課長 小規模の農家であつても、担い手として集落営農組織が受け皿となつて維持されている。今後も営農の支援に取り組んでいく。

河内 農業政策の再生について

食料自給率を農業政策の柱にすべき

食料自給率は、国策としては100%に近づけるべき

かわち なお こ
河内 お米の高騰・品薄への対応は。

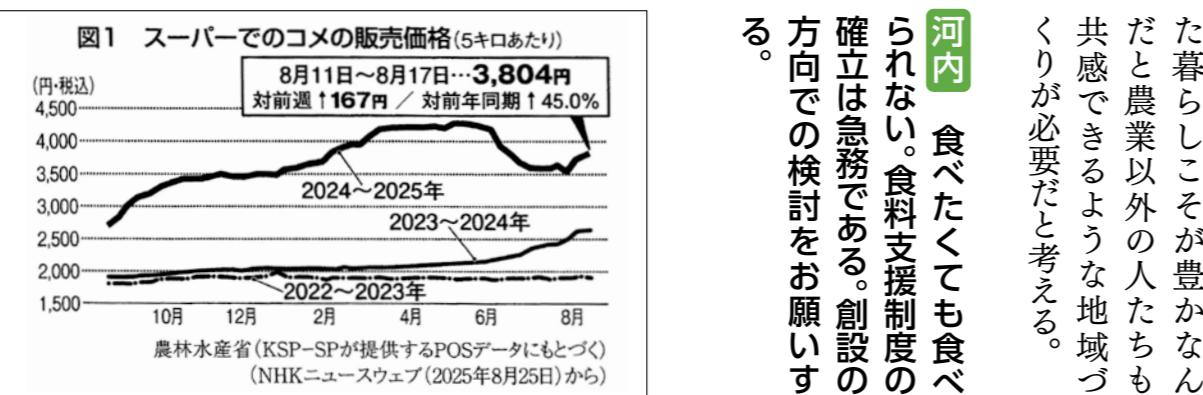
河内 お米の高騰・品薄へ

町長 自分の居住区近接に農地があること山があること、それは極めて重要であるという価値観がもつともつと高まり、東京一極集中が是正される、そういう

品薄への対応については、一つの自治体だけで改善することは不可能。13日からお米を配布するが、町の特産物として町民の愛着と誇りにつながり、地産地消に結びつき、さらには農業の維持と理解の促進をもたらすと考えている。

河内 食べたくても食べられない。食料支援制度の確立は急務である。創設の方向での検討をお願いする。

た暮らしこそが豊かなだと農業以外の人たちも共感できるような地域づくりが必要だと考える。



表紙は今回三輪カントリーでお手伝いいただきました「筑前町ボランティア部」の中学生の皆さんです。

令和7年の「新米」(1人当たり5kg)と災害時の「非常用防災リュック」(各世帯1個)をドライブスルー方式で三輪カントリー・平成カントリー・昭和カントリーの3ヶ所で配布。

お米高騰の折、町民の方々が、車・自転車・バイクなどで来られ笑顔で受け取られました。



ちょっとした声



大内田さんご夫妻
(美和子さん・勝信さん)



現在お米の値段がなかなか下がらない中で昨年に続き今年も「新米」を配布していただき、大変喜んでいます。また、いつ起きるか分からぬ地震等の災害に備え「防災リュック」も配布していただき“筑前町に住んでよかった。”と喜んでいます。

“また来年も?ちょっと欲張りですね” “感謝” “感謝”
おいしいお米ありがとう!



お知らせ

視覚障がい者のための声の広報

「議会だより“うぐいす”」(年4回発行)は、朗読ボランティア「ちくぜん虹の会」により音声化されています。

CDは、コスモス図書館、めくばーる図書館に置いています。

視覚障がいがあり、利用を希望する場合は、社会福祉協議会までお問い合わせください。

(社会福祉協議会 電話:42-4555)



編集後記



最近、古川智映子さんのラジオ版随筆「負けない人生」を聴いています。

古川さんは、NHK朝ドラ「あさが来た」の原案となる小説を執筆された方です。夫の裏切り、数々の病魔との闘い、貧困等「七転八起」ならぬ「九転十起」の波乱万丈の人生を歩んでこられました。90代の彼女は自らの人生を赤裸々に語ることで、悩んでいる多くの方たちに限りない勇気と希望を今も発信されています。

私の好きな言葉に「冬は必ず春となる」とあります。どんなに苦難の時「冬」でも、必ず幸福な時「春」は訪れます。

新しい年が始まりました。皆さんの人生にとって素晴らしい一年になりますように・・・。

(石橋 里美)

発行責任者

議会広報特別委員会

委 委 委 委 委 員 員 員 員 員 員 員
員 員 員 員 員 員 員 員 員 員
石 原 原 平 原 池 松
橋 田 口 田 邦 和 彦
里 美 宏 文 英 司 邦 男 和 彦

議 長 石 丸 時 次 郎